

早いもので、今年も12月となりました。
さて、12月といえば、年末の大掃除。
普段なかなかできないところのお掃除を、家族で分担して
やってみてはいかがでしょうか？
そこで、今回は、お掃除について少しお話したいと思います。

計画を立てる

一度にあれもこれもやろうと欲張りすぎると、途中でイヤになっ
てしまうもの。夜になってもまだ終わらない、なんて、
無理な計画は立てないようにしましょう。



お掃除部分の材質チェック

汚れているからといって、洗剤をつけて、ゴシゴシ拭けばOK、というわけではありません。
もし、その材質に合わない洗剤を使ったり、間違ったやり方をすれば、せっかくの努力も台無し。
汚れが落とせないところか、材質を傷付けたり、変色や脱色を起こすことも…
そんな失敗をしないためにも材質（素材）のチェックはとっても大切なポイントなのです。

洗剤や道具の特徴を知って、上手に使いこなす

ラクにキレイにするために欠かせないのが、お掃除用の洗剤や道具類。
汚れと材質に合わせて、効果的に使う為には、
特性や正しい取り扱い方を知ることが一番。どの洗剤をどのように薄めて、
どの道具で、どれくらいの時間、使用すればいいのか考えましょう。
迷った場合は、影響の少ない洗剤、道具から始めて、汚れの落ち具合と
材質への影響を見ながら、徐々に強力なものを試していきましょう。



●玄関・下駄箱●



まずは靴を全部出しましょう。
この作業で、いらなくなった靴を
処分します。
掃除機をかけ、髪の毛や土砂を除去
します。
最後に固く絞ったタオルで2~3回
水拭きをします。
●匂いの原因●
足から出た汗などは、下駄箱内の湿気
も手伝って悪臭を放つことがあります。
靴用の湿気・匂い取りを利用したり、
新聞を詰めて陰干しすると良いでしょう。

●キッチン・換気扇●



汚れを落とすのに最適なお湯の温度は
40~50度といわれます。
お湯をためて、つけ置き用マジックリンなどを
注ぎ、はずした部品をつけ置きします。
汚れ具合により30分~1時間程放置します。
熱湯や、つけ置きしすぎは、表面の塗装が
はがれたりする恐れがありますので、
ご注意ください。
汚れが浮いてきたら、スポンジやフラシで
こすって汚れを落とします。
汚れが落ちたら、きれいな水で流し、
乾いたタオルで拭きます。

●窓・ガラス●



空気の汚れやホコリ程度の汚れであれば、
洗剤は不要です。新聞紙を適当な大きさに
破って丸め、水で軽く湿らせた物で拭いて
みましょう。そして、ガラスについての水分が
乾かないうちに、今度は、乾いた新聞紙で
乾拭きします。新聞紙のインクの成分で、
ガラスがピカピカになります。終わったら
ゴミ箱にポイで、経済的です。
新聞紙が無い場合は、水拭きを2回繰り返して、
最後にきれいなタオルで乾拭き。
水拭きは、タオルの面を変えて常にきれいな面
で拭くのがポイントです。

●照明●



熱の為、意外に汚れがこびりついています。
洗淨の前に必ず電源を切り、冷めてから
作業を行うようにしましょう。
電気の傘には布や紙など水が使用できない
物があります。布や紙の物は、
ホコリを払う程度にとどめましょう。

家族みんなで協力して、
普段できないところをお掃除して、
気持ちよく新年を迎えましょう。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898) 36-8182 FAX (0898) 36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp
URL : http://www.toya.co.jp